

持続可能な循環型社会をめざして

木材資源のリサイクルが 明日の地球を守ります

ごあいさつ

NPO(特定非営利活動)法人
全国木材資源リサイクル協会連合会

理事長 鈴木 隆

地球温暖化防止の方策として、様々な自然エネルギーの活用が提唱されていますが、現在確立している技術の中で、最も容易で再生可能なバイオマス・エネルギーとして、木材資源のリサイクルの推進が求められています。この、古くて新しい課題を達成するための全国的な組織として、私達の団体は設立され、活発な活動を行ってきました。

かつてあった豊かな森や、伝統的な日本の木造家屋による生活を復元することは並大抵なことではありませんが、地道な取り組みにより、新たなサイクルで炭素をバイオマスとして循環させることは充分可能です。

全国木材資源リサイクル協会連合会は、廃木材をチップとして再生するメーカーと、木質チップを原料や燃料として使用するユーザーで構成する団体ではありますが、資源のリサイクルという観点から、環境のあらゆる要素の改善に貢献することを目標として活動してきました。

その結果、短期間で建設系廃木材の再資源化率が急激に上昇するなど、多くの成果を得ることができました。これも、行政機関や、関係業界の方々のひたかたならぬご尽力の賜物と感謝しております。

今後は、大きく変革する社会の中で、環境保全に大きな貢献ができますよう、より多くの志を同じくする仲間が増え、ますますを期待して、ごあいさつとさせていただきます。



全国大会 (H20.11.13)



NPO(特定非営利活動) 法人
全国木材資源リサイクル協会連合会

《あゆみ》

昭和60年	
昭和60年	東海木材資源リサイクル協会設立
昭和60年	近畿木材資源リサイクル協会設立
昭和60年	関東木材資源リサイクル協会設立
昭和60年	全国木材資源リサイクル協会連合会設立
昭和60年	中四国木材資源リサイクル協会設立
昭和60年	東北木材資源リサイクル協会設立
昭和60年	九州木材資源リサイクル協会設立
昭和60年	NPO法人中四国木材資源リサイクル協会設立
昭和60年	NPO法人北日本木材資源リサイクル協会設立
昭和60年	NPO法人全国木材資源リサイクル協会連合会設立
昭和60年	NPO法人化5周年記念全国大会の開催
昭和60年	第2代理事長 鈴木 隆 就任



私たちの目標と活動

《目標》

- ◆ 資源循環型社会の構築に貢献します
- ◆ 「バイオマス・ニッポン」の推進に積極的に参画します
- ◆ 地球環境と生態系の保全を徹底的に追及します
- ◆ 木質チップの需給安定に努めます

《活動》

- ◆ 全国ネットワークを確立します
- ◆ リサイクル技術の普及・啓発に努めます
- ◆ 常に最新の情報を把握し、提供します
- ◆ 地域の方々との連携を深め、ともに考え、活動します

《構成団体》

NPO法人北日本木材資源リサイクル協会(北海道、東北、新潟地域)
〒990-0845 山形県山形市飯塚町字中河原1629-5

TEL: 023-644-7098 FAX: 023-644-7055
E-mail: kitanihon-r@csyam.com
<http://kitanihon-r.com/news.html>

関東木材資源リサイクル協会(関東、甲信地域)

〒132-0035 東京都江戸川区平井3-23-17
TEL: 03-3637-4008 FAX: 03-5836-8600
E-mail: kantou-woodrecycle@cup.ocn.ne.jp

東海木材資源リサイクル協会(東海、北陸地域)

〒456-0056 名古屋市中区三番町4-28 (ツルハシEPO株)
TEL: 052-661-1567 FAX: 052-661-1560
E-mail: tokai-woodrecycle@fulhashi.co.jp

近畿木材資源リサイクル協会(近畿地域)

〒559-0024 大阪市住之江区新北島1-6-33 (木材開発株内)
TEL: 06-6685-6221 FAX: 06-6685-3953
E-mail: misago@mokkai.com

NPO法人中四国木材資源リサイクル協会(中国、四国地域)

〒889-2501 鳥取県東伯郡琴浦町赤碕1986-2 (南赤碕清掃内)
TEL: 0858-49-2033 FAX: 0858-55-7575
E-mail: chu4@wood-r.com
<http://www.wood-r.com/index.html>

(株)九州環境ネットワーク(九州、沖縄地域)

〒861-8031 熊本県熊本市戸島町2552
TEL: 096-349-7133 FAX: 096-349-7233
E-mail: info@k-e-n.jp

《賛助会員》

(株)在原製作所、オリックス㈱、カンキョウワン㈱、住友大阪セメント㈱、日本製紙㈱、
日本繊維板工業会、日立建機㈱、㈱フナーズエスロ、富士鋼業㈱、㈱御池鐵工所
(アノウエオ順)



編集・発行：NPO (特定非営利活動) 法人 全国木材資源リサイクル協会連合会

〒132-0035 東京都江戸川区平井3-23-17

TEL: 03-3637-4008 FAX: 03-5836-8600

<http://www.woodrecycle.gr.jp>

E-mail: info@woodrecycle.gr.jp

木質チップを有効利用することにより、CO₂などの温室効果ガス排出量削減に貢献できます

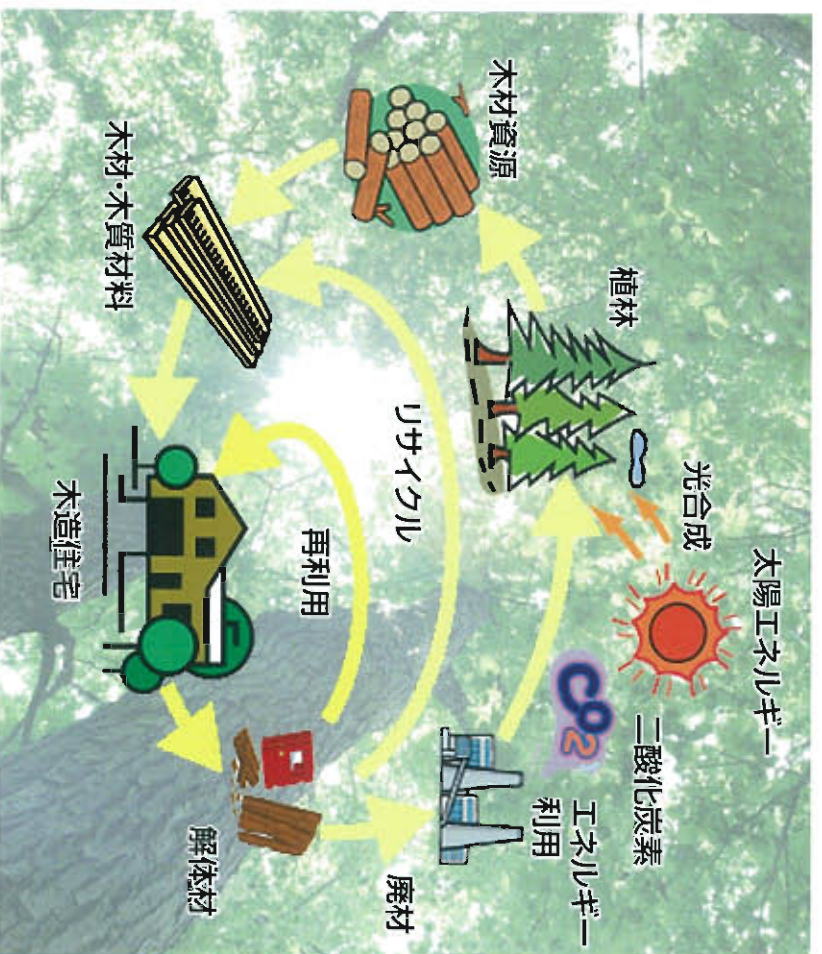
木質バイオマスは、石油などの化石燃料とは違って、循環的に利用でき、温暖化を防ぐ地球にやさしいエネルギー源です。

年間1,000万tの木質チップを有効利用することにより、約1,400万tのCO₂を固定化することができます。

これは、A重油に換算すると約617万kl分のCO₂排出を削減したことになります。

この数字は、年間国内ガソリン消費量で換算すると、約10.6%になります。

また、日本の全住宅に使われている木材が貯蓄している炭素量は、日本の全森林の20%に相当すると推定されています。



カーボンニュートラル

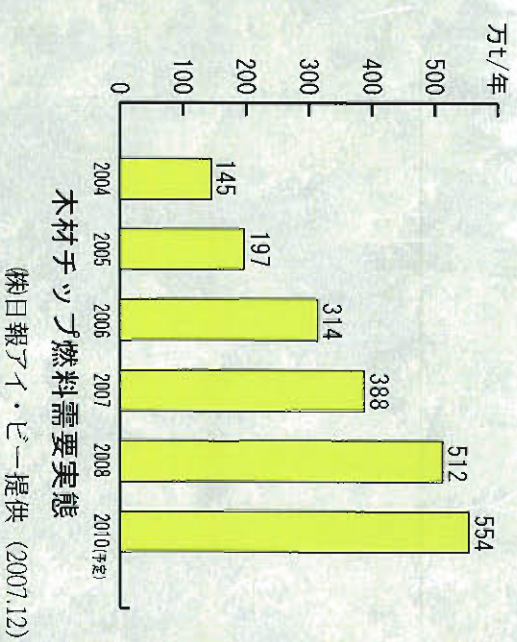
植物は、光合成でCO₂を吸収し、燃やすとCO₂を排出します。その循環は、地球全体のCO₂を増加させません。

木質チップの需要増に 대응するためには、林地残材などの生木の活用が必要です

近年のバイオマス発電施設の相次ぐ新設などに伴い、木質チップが不足しています。これを解消するためには、今後木造住宅の解体件数の増大が見込まれることから、森林の間伐材や、剪定枝などの未利用の林地残材の活用が求められています。

しかし、いま日本の林業は、様々な理由によりそこまで手が回らない状況になっていきます。国土の2/3を占める森林を復活させ、地球環境を守るためにも、林業の活性化が必要です。

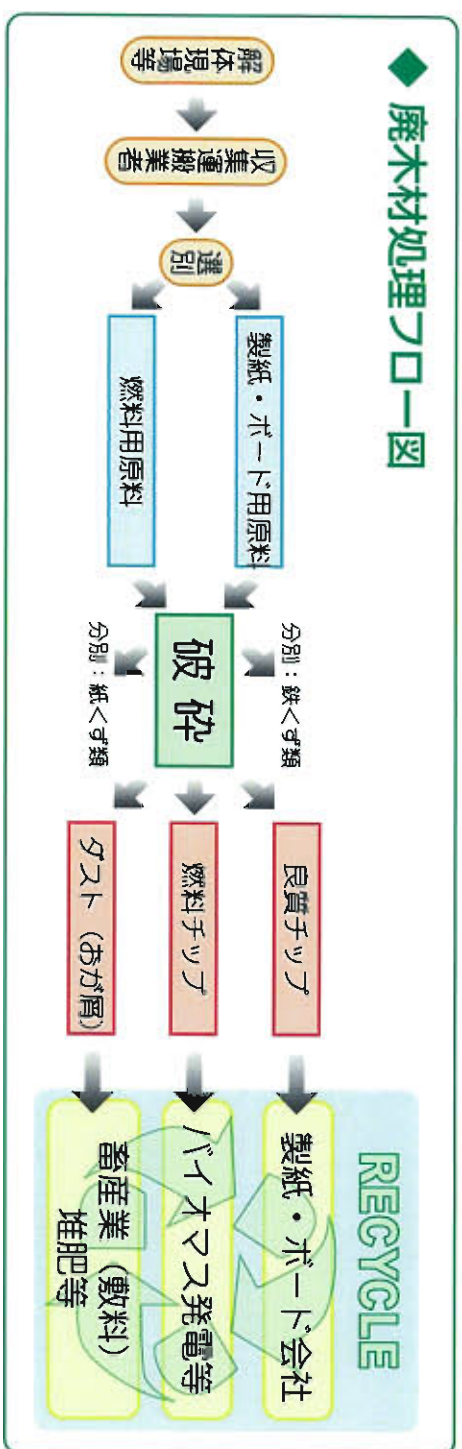
そこで、林地残材をバイオマス資源として経済ベースに乗せてゆくとともに、新たな技術開発と、住民、行政、企業、学術、が一体となる循環型社会のネットワークづくりが急務になっていきます。



バイオマス発電プラント

廃木材を木質チップとして良質な資源に

廃木材はこれだけリサイクルされています

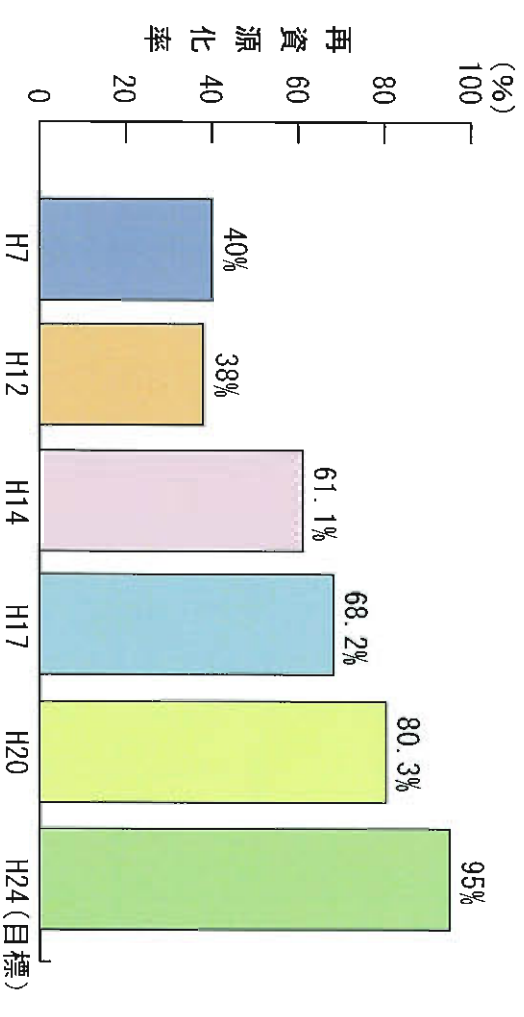


廃木材



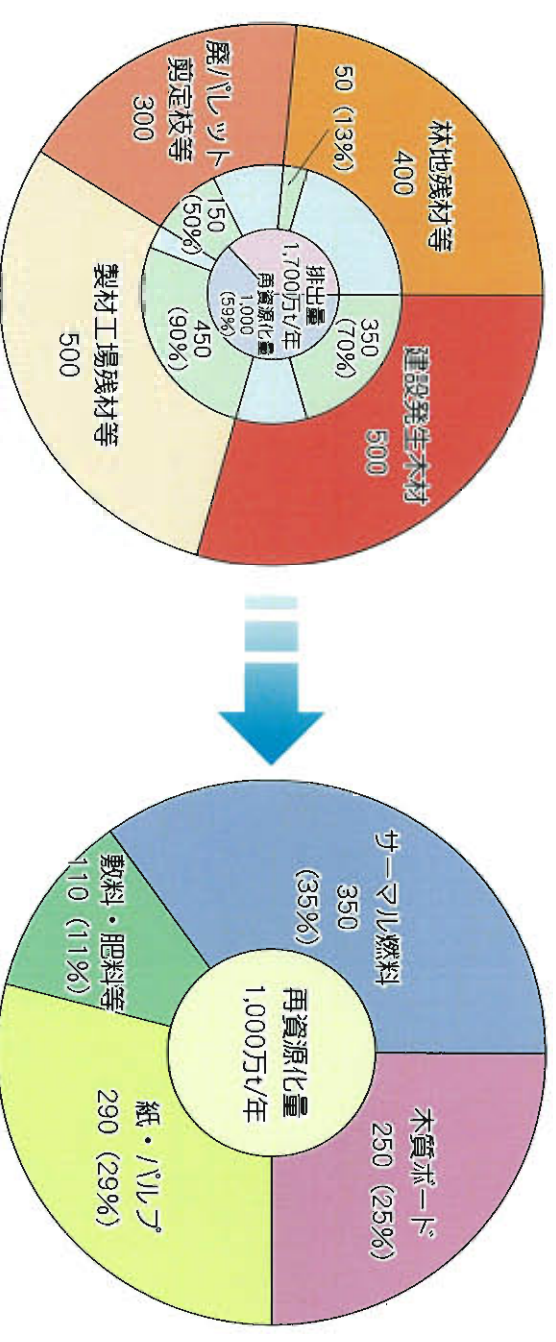
木質チップ

◎建設発生木材の再資源化率の推移



国土交通省「平成20年度建設副産物実態調査結果」から作成

◎木質チップの用途別利用内訳



日本繊維板工業会資料 (2008.3) から作成 (単位: 万トン/年)